

### 第18回 公益社団法人 日本鍼灸師会 全国大会 in 近畿 参加のお願い

「わが街、はり・きゅうのある暮らし～バック・トゥ・ザ・鍼灸～」

いよいよ全国大会開催まであとわずかとなりました。

大会プログラムのご紹介です。

公開講座 「奇跡のすぐそばに居ることー地域に根差す医療とはー」

公開シンポジウム 「鍼灸（東洋医学）が根付く街」

専門講座1 「鍼灸師としての防災と復興支援ー困難な被害状況を乗り越える鍼灸師の活動と備え」

専門講座2 「耳介療法による疼痛ケア」(実技供覧)

専門講座3 「整形外科からみた鍼灸ー八体質医学の紹介ー」

専門講座4 「医鍼連携と小児はりの可能性」(実技供覧)

専門講座5 「令和時代の儲かる経営術&儲かる働き方・自分の評価をあげる方法」

ランチョンセミナー、学生対抗要穴カルタ大会

会場ホワイエにて・体験コーナー・業者展示・縁日・お土産を盛り込んで、講座だけでなく会場全体を楽しんで頂ける大会となっております。

その中でも目玉は、公開講座で漫画「コウノドリ」主人公のモデルにもなった萩田先生がご登壇されます。とても貴重な機会ですので、皆様のご参加をお待ちしております！

大会内容につきましては、大会ホームページ（下記QRコード）にてご確認ください。



ご参加のお申込みは  
コチラ



全国大会 in 近畿 HP



全国大会 in 近畿 PV

《会 期》 令和5年10月21日(土)・22日(日)

《開催方式》 現地開催(大会申込者限定アーカイブ配信あり)

《会 場》 スターゲイトホテル関西エアポート(大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地)

《懇親会》 スターゲイトホテル関西エアポート 4F 鳳の間(懇親会参加費 10,000円)

【主催】(公社)日本鍼灸師会 【主管】(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック

【担当】(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック 【支援事業者】西鉄旅行株式会社

【大会事務局】 第18回 公益社団法人 日本鍼灸師会全国大会事務局

〒530-0037 大阪府大阪市北区松ヶ枝町 6-6 (公社)大阪府鍼灸師会事務局内

電話 06-6351-4803 FAX 06-6351-4855



#### 観光案内

犬鳴山(左) ※修験道体験や温泉がございます  
泉州タオル館(右) ※日本タオル発祥の地

### Contents

F-1  
・第18回 公益社団法人  
日本鍼灸師会全国大会 in 近畿  
参加のお願い

F-2  
・理事・監事・地域代表者  
一泊研修会研修会

・第50回  
大阪ろうあ者スポーツ大会

F-3  
・霊枢勉強会報告

F-4  
・“東洋医学ホントのチカラ”から  
見える鍼灸の未来

・今を知り、  
未来を創る鍼灸のエビデンス

F-5  
・令和6年新年互礼会について

F-6  
・研修会案内 ・行事予定

## 理事・監事・地域代表者 一泊研修会研修会が行われました



明治国際医療大学名誉学長 矢野忠先生

堀口会長

7月29日(土)・30日(日)、京都の聖護院御殿荘にて理事・監事・地域代表者一泊研修会研修会が行われました。伝統的な建築と整備された庭園のある落ち着いた雰囲気の中、明治国際医療大学名誉学長である矢野忠先生をお招きして、未来型の鍼灸医療についてお話をしていただきました。

今年度の理事・監事・地域代表者一泊研修会では、明治国際医療大学鍼灸学部客員教授の矢野忠先生に「未来型伝統医療への挑戦」というテーマでご講演をいただきました。

我が国の人口構造の変容は、医療費、介護費、年金などの社会保障費に大きく影響を及ぼしています。生産年齢人口は今後も減少する見通しであり、女性や高齢者の社会進出を促す必要があるとも言われています。

現在の医療が抱えている課題として、高齢者、労働者、働く女性の健康を取り上げ、お話いただきました。

### 超高齢社会における高齢者の健康

高齢者の多くはマルチモビディティ (multi-morbidity: 他疾患併存状態) であり、多剤服用が問題視されている。鍼灸においても、多くのツボを使用する際のオーバードーズに注意すること、また鍼灸施術と共にフレイルやロコモ予防への対応をすることがIADL (手段的日常生活動作) の向上に効果的である。

### 生産労働者減少時代の労働者の健康と経済的損失

プレゼンティーイズム (健康問題を持ちながら出勤している状態) は、日本企業における健康関連総コストの77.9%を占めている。経済損失をもたらす健康障害と言われている疲労、睡眠不足、目の疲れ、うつ、慢性痛、月経などの体調不良は、まさに鍼灸施術の対象となる症状である。

### 働く女性の健康

女性の年齢階級別労働率は、1970年代後半から1990年代後半にかけては25歳～34歳に低くなる傾向にあった。しかし2018年頃からは、欧米と同様にその年齢階級での働く女性が増加し、成熟期、更年期における女性の健康問題に対する経済損失は大きいと報告されている。また、普段から健康意識の高い女性ほど仕事でのパフォーマンスが高いという報告もあり、鍼灸施術での症状の軽減と共に、健康や予防への意識づけが効果的である。

健康維持・増進、予防、未病治が求められている。欧米では早くから病気になる前に健康づくりに取り組むヘルスケアの市場が活発になっており、日本国内においても今後さらにマーケットは拡大することが予測される。施術所における鍼灸施術だけでなく、地域活動や社会参加し、鍼灸師が積極的に地域住民や他職種との関わりを持ち、国民の健康をプロデュースすることが重要である。

以上、日本の我が国の社会問題と鍼灸師の取り組みについてご講演いただきました。ありがとうございました。

(法人管理 庶務 吉野亮子)

## 第50回 大阪ろうあ者スポーツ大会

河北地域・スポーツ鍼灸プロジェクト委員会副委員長 片岡昌彦



7月23日、大阪市舞洲障がい者スポーツセンターにて、大阪聴覚障害者協会主催の『第50回大阪ろうあ者スポーツ大会』が開催され、大阪府鍼灸師会より岩先生と共にスポーツボランティアとして参加させていただきました。

今大会は、式辞でも「みんなが参加する文化祭」と度々言われるほど、聴覚障害者だけでなく一般のボランティアの人も参加して活発にコミュニケーションを図る、まさに「共生」を実現した活気ある大会です。今大会はヨガ、ポッチャ、eスポーツ、モルックの種目が行われました。

大阪府鍼灸師会は、今大会において救護係を務めると共に、利用者さんへのストレッチ、パイオネックス、電子温灸器のサービスを提供するスポーツボランティアを行いました。幸いにも大会開催中に大きな負傷はなく、多くの参加者さんにサービスを利用させていただきました。

耳は情報を得るための重要な感覚器官です。また、会話をするためには聴覚の働きが不可欠となります。その器官の働きを補うとなれば、他の器官や神経系にも大きな負担がかかる事が考えられます。今大会のサービス利用者様において頸肩部の筋緊張や凝りが強い人が多く、症状からもそういった特徴が見受けられました。その一方で、ジェスチャーや手振りなど少しのやり取りからもこちらの伝えたい概要をつかんでおられ、内容を把握する事やイメージをつかむ事にはとても長けていると感じました。

聴覚障害者の方々が社会生活で直面する一番の問題は、コミュニケーションにあると聞きます。主なコミュ



ニケーション手段である手話は独立した一つの言語、いわば外国語のようなものでもあり、まだまだ手話者の数が少ない事が聴覚障害者の方が日常生活やスポーツをする上で大きな障壁となっていると大会関係者や手話通訳の方が仰っていました。

現代の社会においても聴覚障害者の方々の障壁となる事は多く残っているのかもしれませんが、パラリンピックの中にも聴覚障害者の競技は含まれていないという事があります。しかし、今大会の開会式でも聴覚障害者の世界大会であるデフリンピックが日本で開催される事に決まったと発表がありました。日本での開催は初めてです。そういった事からも聴覚障害者の方々が一丸となって前向きに歩んで来られている動勢を感じる事ができました。

また、今大会でもサービスの利用者様は皆、我々鍼灸師に心を開き身体を任せていただいていたように思います。これは、以前から鍼灸師会が、ろうあ者大会にボランティアとして参加して築いた信頼関係や、身近な距離でコミュニケーションを取りながら施術を行うという鍼灸師の業の強みではないかと思われました。実際、利用者様からも「どこに行ったらこういう事をしてもらえるのか」、「自分の住んでいる所で良い鍼灸院はないか」等の質問を受け、鍼灸に対し強い関心を持って頂いていると感じました。

様々な可能性を持った鍼灸というもの、また我々鍼灸師という存在を広く知ってもらい、そこで受け入れてもらえる事ができたなら、鍼灸師は社会のあらゆる場面で活躍、社会貢献していく事もできるのではないかと思います。





# 霊枢勉強会報告

八月特別講義  
「経絡（けいらく）治療の脈診（みやくしん）について」

講師：日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

- 日時：令和5年（2023年）8月13日（日）第29回
- 会場：大阪府鍼灸師会 会館3階
- 出席者：会員29名（内Web17名） 一般17名（内Web8名）  
学生16名（内web16名）

\*8月度は会場21名、ネット配信での受講が41名でした。

## ○八月特別講義「経絡（けいらく）治療の脈診（みやくしん）について」

### ○『診家枢要（しんかすうよう）』

○（配布資料18ページより）

篠原孝市「臨床に活かす古典」第44回／治療その4（『医道の日本』2015年12月号）

岡部は昭和18年（1943）9月の北京旅行の際、周氏医学叢書所収の滑伯仁の『診家枢要』を発見し、これを経絡治療の六部定位脈診の先駆と見なした。広く知られる『診家枢要』の逸話であるが、実際にはこの脈書はその後の経絡治療にさほど影響を及ぼしていない。たとえば昭和19年（1944）の最初に出た論文「経絡治療入門・診断篇」（第11巻1号）で、岡部は初めて祖脈の重要性に言及したが、その祖脈は、江戸期の『鍼灸拔萃（しんきゅうばっすい）や『鍼灸重宝記（しんきゅうちようほうぎ）』に出た浮沈遅数（ふ・ちん・ち・さく）の四脈でも、また滑伯仁（かつはくじん）が診脈の提要とする浮沈遅数喝瀉の六脈でもなく、『脈論口訣（みやくろんくけつ）』に見える『三因方（さんいんぼう）』由来の浮沈遅数虚実の六脈であった。

\*『診家枢要（しんかすうよう）』という本を岡部素道（おかべ そどう）先生が戦前に非常に評価しています。それについて、わたしは書いたことがあるのです。

○（配布資料18ページより）

岡部は晩年まで『診家枢要』について言及しているが、周囲にもその意味は十分に理解されなかったようである。しかし、この書物は、意外な地点で、井上恵理（いのうえ けいり）・本間祥白（ほんま しょうはく）の継承者である井上雅文（いのうえ がぶん）に影響を与え、その後に思いがけない展開を迎えることになる。それは次のような問題意識のもとに展開された。

\*『診家枢要』は岡部素道（おかべ そどう）先生が非常に推奨しました。後々まで推奨し『経絡治療（けいらくちりょう）』という雑誌の中で座談会まで開かれました。その座談会に触発され丸山昌朗（まるやま まさお）先生のお弟子の豊田白詩（とよだ はくし）先生が『診家枢要（しんかすうよう）』の注解まで書く、それから遠藤健一（えんどう けんいち）先生も『診家枢要』の注を書かれている

というように重要視されています。けど重要視されていますけど、ほとんど問題にされていない。

\*この『診家枢要（しんかすうよう）』という本は『難経本義（なんぎょうほんぎ）』を書いた滑伯仁（かっぱくじん）という人が書いた本です。その本がヒントになって井上雅文（いのうえ がぶん）先生の素脈（そみやく）による脈状診（みやくじょうしん）は出来上がっています。ここにわたしは、それを入れてあります。（配布資料19ページ「井上雅文」の項にある）

で、ここまでが戦前のことなんですけど、その後25年ばかり、急に時間が跳んで1970年代になります。（以下、配布資料18～19ページ01～06項）

### ○経絡治療における1970年代の諸問題

○01 初期経絡治療の過程を歩んできた経絡治療家にとって、人間関係に関わらず、直面している課題は同じである。

\*これは最近、特に感じています。岡部素道（おかべ そどう）先生が感じていることと、われわれが感じていることは同じだというふうに最近感じます。つまり岡部素道（おかべ そどう）先生と井上恵理（いのうえ けいり）先生、あるいはわれわれ井上系の人間が考えていることは基本的に同じだ、というふうに考えています。直面している課題ですね。

○02 課題とは、〈陰虚（いんきょ）〉を前提とする施術＝本治法（ほんじほう）（井上系経絡治療風にいえば、〈蔵病（ぞうびょう）〉〈経病（けいびょう）〉の区別、あるいは所謂（いわゆる）「五蔵病證（ごそうびょうしょう）」を指標とする〈蔵病（ぞうびょう）〉の把握）と、その具体的な方法である六部定位脈診（ろくぶじょうみやくしん）による経絡（けいらく）選定と、『難経（なんぎょう）』を援用した手足の五腧穴（ごゆけつ）の運用が一応実現したあとの問題である。

○03 たとえば選経論的問題

①陰経（いんけい）虚（きょ）を主證（しゅしょう）とするか、陰経（いんけい）実（じつ）を主證（しゅしょう）とするか。

②陽経（ようけい）の扱いの問題

\*つまり虚證（きょしょう）か、実證（じつしょう）かというふうな問題、それから陽経をどういうふうにするのかという問題がある。

○04 たとえば選穴論的問題

①六十九難（『難経（なんぎょう）』の篇）を援用することによって起こる要穴選穴の固定化、形骸化という弊害がある。それに対してもう一つ、逆に六十九難（『難経』の篇）による選経選穴とは、何を意味しているのかという問いかけもある。

②選穴論の問題を、穴（けつ）の主治症（しゅじしょう）の面から解決出来ないかという問題もある。

\*藤木俊朗（ふじき としろう）先生は選穴論の問題を穴の主治症、つまり『明堂』という本の問題に置き換えようと試みられていた。

○05 これらの基本を為（な）す、陰陽虚実（いんようきょじつ）の診察、〈病證（びょうしょう）〉の判定（病機や病因の判定）、予後の判定の問題、これをどうするか。

○06 それらの診察、判定を、症状あるいは脈状（みやくじょう）からどのように行うのか。

\*診察、判定をどのからだの部位で行うのか、それは必要である。

### ○さいごに

\*脈状を診て来た歴史というものを振り返れば、からだのどの部分で脈状を診るかということが大事になってきます。左右の脈を一体で診るという中に問題があり、岡部素道（おかべ そどう）先生はその部分で引っかかったのだと思います。井上雅文先生は、その部分を人迎と気口というものを代入することによって乗り切ったと思います。まあ、その乗り切り方が良かったのか悪かったのかはわかりませんが。

岡部素道先生が構想された脈状についての考え方、あるいは井上雅文先生が、それをどういう部分で実用化、臨床化するかという時に行った試みについて、ある程度伝われば、この講義の意義があるのではないかと思います。これからも脈診や脈状を重んじる場合は、経絡治療を実

践している人たちがやって来た試行錯誤を否定するか肯定するかは別にして、それを問題にした上で論を展開していただきたいと思います。

\*これは皆さんが中医学の本の脈診の部分を見る時にも参考になります。中医学を実践している人が書いた本を見たら、その著者が脈診をやっているか否かは、すぐにわかります。

\*『霊枢』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜、午前10時から12時まで大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会のご案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。次回は2023年10月8日（日）、その次は11月12日（日）です。

（霊枢のテキストは現在2冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください）

（霊枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己）

令和5年9月10日

大阪府鍼灸師会 学術研修

### 「東洋医学ホントのチカラ」から見える鍼灸の未来

NHKメディア総局 第2制作センター 山本 高穂 先生



最初に「はり・きゅう治療（師）に必要なこと」として、第3回学術研修会は、メディアの立場と鍼灸界の立場から見たエビデンス（EBM）の講義となりました。

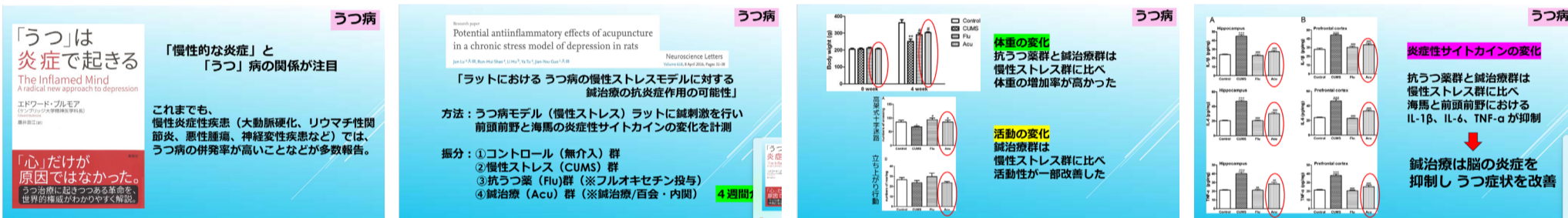
1講義目は、2018年9月から年1回程度放送しているNHKの特集番組シリーズ「東洋医学ホントのチカラ」のチーフ・ディレクターである、山本高穂氏にご講演いただきました。山本氏がこれまで担当してきた番組には、

- ・NHKスペシャル『謎の海洋民族モーケン』（2008年）
- ・NHKスペシャル『病の起源・うつ病』（2013年）

『ダーウィンが来た!』『ガッテン!』『クローズアップ現代+』『あしたが変わるトリセツショー』『コズミックフロント』ほか多数の番組作成に関わってこられました。主に科学に関係すること、論文で証明されていることへの追求に力を入れておられます。先生方の中には、この番組名を聞いて「この番組大好きや」と感じる先生もおられるかと思いますが。ちなみに僕は、織田裕二が司会されている『ヒューマニエンス 40億年のたくらみ』が好きですが。（山本さんスマセン）

さて、講演内容がどうだったかレポートしたい。内容は、鍼灸を中心に、漢方薬やヨガなどの研究や、臨床の最前線を世界各地のトピックを含めて紹介していただき、視聴者をはじめ医療関係者からも大きな反響を頂いている、ということで、実際番組で使用された映像を交えながらの講義形式で、テレビを見ているような感覚で、番組を見逃した人や、もう一度見たかった人には嬉しい限りだったことでしょう。その中でこの研修では、これまでの取材や反響から見てきた鍼灸の可能性と未来について、慢性疼痛、精神疾患、リハビリテーション、スポーツケアを中心に番組映像を交えながら紹介していく運びで、講義が展開されていきました。

慢性痛を性差でみていくと、圧倒的に40歳から60歳代の女性が多い。さらに痛みを抱えている比率も女性が多く、不安、うつなどの気分障害を呈している。山本氏いわく、「心身一如」の科学的メカニズムの解明は日々進展しているという。そして今、「慢性的な炎症」と「うつ」病の関係が注目されている。



スポーツ鍼灸では、なんと私の映像も使用していただきました。その中で高校生がスポーツトレーナーになるために必要な資格の50%以上が理学療法士と健康運動指導士で、はり師、きゅう師は、なんと3%前後という結果であった。認知度が低いことから、鍼灸師会としてやるべきことは、スポーツ分野とどんどん繋がっていく必要があると山本氏は言う。

最後に、山本氏は鍼灸の未来として、

- ☆最新医学を導入・応用することで 鍼灸治療は「大進化」できる可能性
  - ☆医師や理学療法士などとの連携による「チーム医療」の推進
  - ☆「身近な医療者」としての立場を生かした 医療・健康の「キーパーソン」の役割
- というカタチで講演を締めくくった。

研修会委員長 清藤 直人

令和5年9月10日

大阪府鍼灸師会 学術研修

### 「今を知り、未来を創る鍼灸のエビデンス」

東京有明医療大学 松浦悠人先生

もしかしたら少し苦手意識のある方もおられるかもしれない「エビデンス」について、「何故、鍼灸にエビデンスが必要なのか?」というテーマを私たちに投げかけて、日々の臨床のモチベーションを上げる機会をいただきました。

松浦先生は、大学院で主に精神科領域の鍼灸治療を専門に臨床研究をされていく上で、鍼灸を現代医療の中に位置付けていくためには「エビデンスを創ることが必要」と強く感じられた。

そもそも、医学を進歩させる方法は論文であり、鍼灸に関する論文は近年右肩上がりに増加している。特に1972年の中国の鍼麻酔、1997年のNIH合同声明をきっかけにして、鍼灸の科学化が進み、一気に論文が増えてきた。「アデノシン局所鍼鎮痛機構」などの多くの優れた論文がまとめられ、教科書「はりきゅう理論」にも最新のエビデンスを含んだ内容が反映されている。最近のトピックとしては「抗炎症」に関する論文も発表されており、「微小炎症が未病を生む」ということから、今後の鍼灸の有用性をさらに主張できる根拠となるように、論文は現在の最先端を伝えてくれ、さらに未来を創る力があるという意味で重要だと主張された。





### ①エビデンスとEBM

松浦先生の恩師である津谷喜一郎先生によると、医療技術を高める為には、種々の医療技術の選択における意思決定を支援するための質の良いエビデンスが必要であり、特に鍼灸にはそれが足りないのが必要であるとのこと。大前提として、エビデンスとは「あり・なし」ではなくグラデーションで表現され、その中でもレベルの強い研究のデザインがランダム化比較試験(RCT)である。また、システマティックレビューやメタアナリシスなどは特にエビデンスレベルが高い。エビデンスレベルとは、一つの強力な研究だけで決定するものではなく、そのテーマに関する全ての論文を収集し、質を評価し確実性を高めるものである。このような質の良いエビデンスは診療ガイドラインでの推奨度を高める。

しかし、臨床現場での1症例からスタートしてガイドラインに載った例「COPD患者への鍼治療」があるように、やはりエビデンスの始まりは1症例からの積み重ねが大切だと言える。また日々の臨床は意思決定の連続であり、エビデンスはそれをサポートすることができるので、治療や患者説明にもより根拠を持って提案ができるため、上手く活用できれば良いのではないかと。

次に、EBMとは「根拠に基づいた医療」を意味する。これは4つの要素を基に、患者に最適な治療を選択することであり、医療を円滑に行うための道具・行動指針である。4つの要素とは、①患者の病状と周囲を取り巻く環境、②患者の意向と行動、③エビデンス、④医療者の臨床経験、である。エビデンスとはあくまでも、この4つの要素の中の1つである。

EBMのための最初の情報収集の方法としては、google scholarが比較的使いやすいとのこと。また、論文の種類の中でも原著論文が、査読を受けている点で学術的価値が高い。そして学会・学術講習会への参加や、ネット情報(eJIMやAcuPOPJ)なども有力である。これらを正しい場所から正しい情報を収集し、信頼できる情報がどうか吟味してから4つの要素を踏まえて患者へ適応していく。

### ②未来を創る鍼灸のエビデンス

そもそも、エビデンスは臨床で使いやすいものでないと意味が無いのだが、海外論文(中国圏や英語圏)が多いため、日本人を対象に日本鍼灸を行った際の効果を検証することが必要である。その為の日本鍼灸の最前線は「地域に根付いた鍼灸院」である。松浦先生は、「鍼灸院に行くとなんかいいよね」と思ってもらえるエビデンスを作りたいと提案された。海外(台湾の例)には、国を挙げての研究があり、「鍼灸を受けていた不眠症患者は認知症の発症が少ない」というデータがあるように、日本でもオープンサイエンスの促進が必要であると。

臨床家は研究の非専門家であっても、研究に参加し、学術や科学的な知を共有することが必要なのではないかと。また臨床家は日々試行錯誤して多様な治療理論や手技を集積し、患者さんへ適応させているという意味では、良い研究者とも言えるので、この臨床研究を重ねてエビデンスを作っていくことができる。

その1つの方法として、松浦先生は現在電子カルテシステムを活用したデータ測定を実施されており、今後もさらにネットワークを広げていく計画をされている。次に、地域医療に根付くために必要なことが医療連携であり、その為に必要な学びの場をまずは精神医療の分野で進められていて、鍼灸師と精神科医との連携(AP連携)の強化を目指している。精神科医から鍼灸院への紹介リストを作成していく為に、今後は鍼灸師から医師や患者へ情報発信をしていくことが必要で、学会等でアピールするなど、エビデンスを普及させていくことが最も重要である。

このように、エビデンスは世の中に鍼灸の魅力を伝える為のコミュニケーションツールの1つである。2022年度の鍼灸年間受療率は未だ5.7%と低く、今後さらに向上させていくことが望ましい。鍼灸の未来を創るのは、鍼灸師1人1人の日々の臨床の手応え(エビデンス)に他ならず、これを研究者としての視点でも形にしておくことが重要で、医療連携を意識した取り組みが必要である。

臨床家であり研究者でもある松浦先生の明瞭なお話から、今後の日本鍼灸への熱い思いを感じ、自分に出来ることは何かと改めて考えさせられる機会を得られました。日々の臨床で目の前の患者さんに真摯に向き合っていくことは第一ですが、さらに広い視野で、多くの人の利益を考える上で、「オープンサイエンス」という考え方は重要であると、より高い意識に引き上げていただける貴重なご講演を有難うございました。

研修委員 上田里実

## 令和6年新年互礼会について

会員各位  
法人管理委員会

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の活動につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて新年互礼会を下記の通り開催いたしますので、ご繁忙のこととは存じますが万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

また、本年に在籍50年に到達された先生方に永年在籍表彰を執り行う予定になっております。該当される先生には別途招待状をお送りします。

記

令和6年新年互礼会

と き： 令和6年1月4日 木曜日

17:30~受付

18:00~開宴予定

ところ： シティプラザ大阪(大阪市中央区)

会 費： 今のところ未定

(永年在籍表彰対象の先生はご招待となります)

未定のところにつきましては、決まり次第ホームページ・いかなごう  
フレッシュ12月号等でお知らせいたします

以上

# 研修会案内

開催日	令和5年10月8日(日)	令和5年11月12日(日)		令和5年12月10日(日)
時間	10:00~12:00	10:00~12:00	13時受付 ①13:30~15:00 ②15:15~16:45	10:00~12:00
場所	大阪府鍼灸師会館3F または WEB配信(ZOOMミーティング)			
研修会名	10月度霊枢勉強会	11月度霊枢勉強会	①「董氏楊氏奇穴 治療の考え方」 ②「董氏楊氏奇穴 実技編」(実技供覧)	12月度霊枢勉強会
内容 講師名	第28回 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生	第29回 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生	講師：田畑 修和 先生 (和来堂はりきゅう治療院 院長)	第30回 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生
午前午後 通しの聴講料	本会会員・準会員(卒後)・提携会員 ¥1,000 会員外 ¥2,000 学生 WEB 限定無料			
申込	掲載のQRコードまたは、大鍼会HPよりお申し込みください。10月度研修会は10月4日より受付を開始いたします。大鍼会ホームページやいかなごう(メルマガ)でもご案内いたします。※会場は先着30名、WEB受講は先着300名			
主催	公益社団法人 大阪府鍼灸師会			
学術講習会 講演案内文	奇穴と言うとどのような印象をお持ちでしょうか？おそらく大半が特効穴という答えかと思えます。董氏楊氏奇穴も同じく奇穴なのですが、董氏楊氏奇穴はなぜそこに奇穴が存在するか、その理屈から学びます。ちゃんと教科書通りに勉強しても教科書通りの患者さんは来られません。そのような患者さんに対応するには、その治療法の考え方を理解しているかが重要です。そこで今回は董氏楊氏奇穴の考え方を知って頂きたいと思っています。			

## 公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表 (9月17日現在)

1. 令和5年10月予定		
日時	主要行事	場所
5(木)	会費引き落とし日	
5(木) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
8(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
15(日) 10:00~	生保労災新規取り扱い講習	会館2階
21(土) - 22(日)	日鍼会全国大会 in 近畿	スターゲイトホテル

2. 令和5年11月予定		
日時	主要行事	場所
6(日) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
12(日) 10:00~	霊枢・学術研修会	会館3階+WEB配信
16(木) 20:00~	正副会長会議	会館2階
19(日) 10:00~	第6回理事会	会館4階
19(日) 15:30~	第2回地域代表者連絡会	会館3階

3. 令和5年12月予定		
日時	主要行事	場所
5(火)	会費引き落とし日	
7(木) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
10(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
28(木)	事務局仕事納め	

お詫びと訂正

8月号 Fresh、9月度の行事予定表に誤りがありました。

「霊枢勉強会(会館3階+WEB配信)」「学術講習会(会館3階)」上記の講習会の日程13日(日)となっておりましたが、正しくは10日(日)でした。

訂正してお詫び申し上げます。

## 研修会 Webより申込み

		
10月度 (8/19~)	11月度	12月度
Web配信利用手順書		
		



いっしょに、いこう！  
大阪・関西万博